

魅力再発見

# 街を歩こう！

## 京町商店街



### ● 深山生花店

きれいな花束だけでなく、観葉植物や植木鉢などの園芸雑貨も販売。また、お花教室も開催し、お店ではもちろん、公民館などでの出張教室も行っています。

### ● 岸川まんじゅう かけばやし本舗

岸川地区で300年前から作られてきた、引きの強い生地が特徴のまんじゅうです。シンプルな“あんなし”のほか、10種類ほどの味があります。



### ● TONERY 佐賀店

2017年にオープン。海外からセレクトされたピアスやネックレスなどのアクセサリーや帽子、バッグなどの雑貨を取り揃えています。大人シンプルなデザインが若い女性に人気です。



### ● 和醸良酒とりごえ

ボリューム満点のランチが大好評。新鮮な魚介類や季節の野菜を使った美味しい料理と名物マスターにぜひ会いに行ってみませんか？



## アートの手で まちなかに明るさと賑わいを

2015年から中心市街地活性化のために行われている「多久市ウォールアートプロジェクト」も京町商店街を中心に31か所になりました。商店街の人たちも「まちが明るくなった」と喜び、作品を見に足を運ぶ若者や家族連れの姿も見れ、まちに新たな人の流れが生み出されています。



今月は「まち歩き」がテーマ。ちよつとした外出にも車を使つて「最近あまり歩いていない」という人も多いのではないのでしょうか。そこで今回は多久市の中心市街地、京町商店街、中多久マーケットにスポットを当てました。  
すがすがしい秋晴れの日は、みなさんも「まち歩き」してみませんか。適度な運動にもなりますし、ゆっくり歩くことで、これまで気づかなかつたふるさとの魅力と出会えるはずですよ。

京町商店街組合 会長  
おお ぼひろし  
大庭弘さん



### 県外からも足を運ぶ人が増えています

京町商店街ができる前は、田んぼが広がっていて、私が出た頃の頃は、絶好の遊び場でした。しかし、昭和28年の大洪水で田んぼが土砂に埋まり、使えなくなりました。ちょうどその頃から炭鉱で人口が増え、商店街の必要性が高まっていたので、父たちが開発に着手。1年で京町商店街が誕生しました。

京の都をイメージし、その憧れから京町と名付けたそうです。28軒からスタートし、最盛期は多種多様な40軒以上の商店が軒を連ねて賑わっていました。

商店街の魅力は、個性豊かな店主との交流だと思っています。お客様に喜んでもらうと、こだわりの品を並べる店主たちとの会話を楽しんでいただきたいです。

現在、営業しているのは11店舗ですが、各店努力しています。新しいお店も増えました。また、まちなかのシャッターや壁画を彩る「多久市ウォールアートプロジェクト」が広まり、県外からも足を運ぶ人も増えています。

若い人にこそ、昔ながらの商店街を歩き、店主との交流を楽しんでもらいたいですね。